

9 安心して暮らせる地域にするために

問合せ：おとしより保健福祉センター 認知症施策推進係 ☎5970-1121

○認知症サポーター 令和5年3月末時点 区内 32,000人

認知症サポーター養成講座を受けて、認知症について正しく理解した「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」の担い手です。

認知症の人やその家族を手助けしたり、認知症サポーターのひろばでできることを話し合い実行したり、無理のない範囲で様々な活動をします。養成講座で配付される「認知症サポーターカード」がサポーターの目印です。

※認知症サポーターの目印は、カードの他にも認知症サポーターリングなどがあります。



認知症の人への対応の心得 3つの「ない」

- 1. 驚かせない
- 2. 急がせない
- 3. 自尊心を傷つけない

具体的な対応の 7つのポイント

- ①まずは見守る
- ②余裕をもって対応する
- ③声をかけるときは1人で
- ④後ろから声をかけない
- ⑤やさしい口調で
- ⑥おだやかに、はっきりとした話し方で
- ⑦相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

認知症サポーター養成講座

一般区民向けと事業者向けの講座があり、広報いたばしで募集するほか、出前講座（一般区民向け、事業所向けのいずれも概ね5人以上）も実施しています。

○認知症サポーターのひろば

認知症サポーターとして何ができるかを、皆で考えて、楽しみながら活動する集まりです。認知症の普及啓発のための「いたばし認知地笑かるた」(P23)の制作を行い、現在は認知症サポーター養成講座で「いたばし認知症村芝居」を上演しています。

毎月第2金曜 午後2時～3時にウェルネススペース板橋（板橋3-26-4）で活動中です。



全国キャラバン・メイト連絡協議会
令和4年度 認知症サポーター
優良活動事例で最優秀賞を受賞しました！

Youtubeで「認知症村芝居」を公開中！！



「認知症村芝居～ここはとあるコンビニ店～」

新人店員が認知症の人と出会い、成長するお話です。

「認知症について多くの方に正しく知ってもらいたい」という思いで、認知症サポーターの方々がボランティアで演じています。

ぜひご覧ください。

板橋区認知症村芝居

